

News Release

2020 年 11 月 6 日

海上輸送事業がモーダルシフト優良事業者賞の「有効活用部門賞」を受賞

株式会社バンテックは、関東・九州間の海上輸送において、長年の取組により環境負荷低減、輸送効率向上、工数低減に貢献したことが評価され、一般社団法人日本物流団体連合会が実施する令和 2 年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞において、「有効活用部門賞」を受賞しました。37 年前に関東・九州間の自動車部品輸送を陸上輸送から海上輸送に変え、一度に大量の荷物を輸送できるようになったことで、CO2 排出量や輸送工数の低減に努めてまいりました。加えて、両拠点に混載センターを設けてトレーラー一台当たりの積載率向上も実現。関東・九州間の航路は当社自動車部品輸送のメインルートであるため、この航路を輸送の「大動脈」と位置付けています。今後もさらなる環境負荷低減などに努めてまいります。

部門名： モーダルシフト優良事業者賞 有効活用部門

取組事項： 陸上輸送から海上輸送へモーダルシフト
「大動脈」で環境、人、社会に優しい輸送を実現

取組の概要： 関東・九州間の自動車部品輸送は陸上輸送で行っていたが、荷量の増加に伴い 37 年前に海上輸送へモーダルシフト。同地域間のメイン輸送ルートを担うことから、当航路を輸送の「大動脈」としている。陸上輸送から海上輸送にシフトすることで、一度の輸送量を大幅に向上。それにより、CO2 排出量の低減や、ドライバーの長距離運転の負担を軽減。ドライバー不足に対応する対策としても捉えている。さらに、関東・九州の両拠点に混載センターを設け、最大積載量 20 トンに満たない貨物に対しては混載輸送を実施し、積載率を上げている。納期、納入先などを考慮し、混載する荷物の組み合わせや、船舶への積込順などを調整して無駄のない輸送を実施している。

取組の成果： CO2 排出量 56% 減⁽¹⁾、ドライバーの負担軽減、積載率・輸送効率向上

(1) 2019 年度に海上輸送したトレーラーを陸送した場合と比較して CO2 削減率を計算

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

(株) バンテック 競争力強化本部 ICT 強化推進部

マーケティング&コミュニケーション 仁多見 TEL: 045-306-5225

物流は新領域へ

LOGISTEED